

優勝を飾ったチーム福井の少年男子3人



祝！天皇杯獲得!!



あわら温泉の女将もあわらの品をふるまいました



気合十分！準備は万端！



狙いすました一打



高校生も中学生もお手伝い



最後は健闘をたたえあう



「練習場の奥までゴルフボールを拾いに行くのは大変だったけど、やって良かったです。出場しているのは同年代の選手、皆さん頑張ってほしいです」【中下】
「緊張したけど、福井のイントネーションに気を付けながら、アナウンスしました」【左下】 競技補助員の生徒

ゴルフ チーム福井、天皇杯獲得！

ゴルフ競技は、市内の3会場である男子、女子、少年男子の3つに分けて実施し、2日間かけてチーム3人の合計スコアで競いました。

強風によって多くの選手が伸び悩み中、少年男子では、インターハイ準優勝という実績を持つ大谷元気選手が、最終日にコースレコードタイとなるスコア66を叩き出すなど実力を発揮したほか、3人とも大崩れしない安定感が光り、チーム福井が見事初優勝を飾りました。大谷選手は、個人の部でも3位に輝きました。

成年男子も、チーム福井は個人の部で4位に入賞した木村太一選手を中心に手堅くまとめ、団体の部2位という成績を収めました。女子のチーム福井も、最終日に順位を6つ上げるなど健闘し、福井の競技別天皇杯獲得に貢献しました。

各会場に訪れた多くの観客は、ナイスショットには拍手を送るなど、静かで熱い戦いを楽しんでいました。



猛追する山下選手



チーム福井の選手、全員やりぎりました！



日本トップの実力で相手に迫る桐明選手



地元代表の意地を見せる金津高校生



福井とあわらの味をご賞味あれ



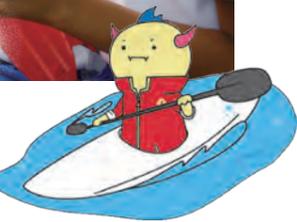
金津高校の生徒も競技補助員として選手を支えます



応援も力の限り！

いちほまれのおむすびや焼き芋、とみつチャウダーといったふるまいには、行列ができていました【3段目左2枚】

大きな声で鼓舞するのも、補助員やボランティアとして働くのも、どちらも応援の一つの形。会場にいる全ての人が選手を支え、応援していました【右下・左下】



カヌースプリント 地元あわらの選手も活躍！

市内では、先陣を切ってカヌースプリント競技を実施しました。本来は、9月30日から4日間の予定でしたが、台風接近の影響により、3日間に短縮。競技中は、台風一過で晴天の下でのレースとなりました。

福井県代表として、競技会場である北潟湖で普段から練習している選手や金津高校カヌー部の先生と生徒も出場。同じ金津高校の生徒が競技補助員として参加するなどホームの雰囲気を選手たちは心強く思っているようでした。会場には、地元の子どもたちも駆け付け、選手たちの力になるようにと、元気良く応援していました。

アジア大会にも出場した桐明輝子選手がカナディアンシングルの500mと2000mで準優勝したほか、山下友理子選手がカヤックシングルの500mで3位、2000mで8位入賞、さらに金津高校生で構成されたカヤックフォアが2000mで8位入賞を果たしました。その他の福井県選手も複数入賞し、地元の期待に応えた素晴らしい活躍を見せました。